

裁判員等経験者の意見交換会 を実施しました




令和6年1月17日開催 横浜地方裁判所

裁判員・補充裁判員として裁判員裁判に参加された20代、30代の方をお招きし、法曹三者との意見交換会を開催しました。
今回は、高校生の皆さんにこの様子を見学していただきました。



参加者のみなさま

 裁判官 3名  検察官 2名  弁護士 2名

裁判員等経験者① (20代 会社員※)

裁判員等経験者② (30代 会社員※)

裁判員等経験者③ (20代 会社員※) ※裁判員等当時

意見交換会に参加された方のご意見をご紹介します。

裁判員等を経験されてみて、どう感じましたか？

経験者

- ・裁判官のサポートが非常に大きく、話しづらいことも裁判官が順を追って意見を聞いてくれるので、とても意見を言いやすい環境でした。
- ・選ばれた時は、自分がその人の人生を決めてしまうことが怖いと感じました。裁判官や裁判員で話をたくさんして結論を決めたので、自分も納得できる答えを出すことができ、やってみて良かったなと思いました。

お仕事との調整で苦労された点がありますか？

経験者

- ・連続した日程ではなく、週に2日くらいでスケジュールが組まれていたので仕事の調整はしやすかったです。
- ・仕事は個人でやるものが多かったので、日程調整はそこまで苦労しませんでした。仕事をやりつつ、裁判員も充実して経験することができました。

評議で話しやすい雰囲気を作るために、工夫していることはありますか？

裁判官

- ・裁判に出てくる法律に関する問題は、適宜わかりやすく説明したり、法律用語を誰が聞いてもわかる形で進めるように工夫しています。
- ・他の人の意見を聞いて自分の意見を変えてもいいですし、言っていただく意見は自由、乗り降り自由という形で進めています。
- ・思ったところを率直に、遠慮なく言っていただくことを大事にしています。

わかりやすい審理のために検察官や弁護人が工夫していることはありますか？

検察官

- ・どういう事件なのか、どういうところを判断してもらいたいのかを、初めて裁判に参加する方にもわかっていただけるように準備段階から考えて工夫しています。

弁護人

- ・できるだけ専門用語を易しい言葉に置き換えて話をしたり、提出書類も文量を少なくしたり、文字を大きくしたりと工夫をして作成し、わかりやすいように、かつ、短くということを意識しています。

■ 経験者から高校生へのメッセージ

- ・若い人ならではの視点からの意見があるからこそ、周りの人も気付くことがたくさんあると思いますし、皆さんしか出せない答えが出せると思いますので、皆さんが裁判員に選ばれた際には、ぜひ参加してみてください。
- ・普段、皆さんは自分と同じ年齢の方々と話していることが多いと思いますが、様々な仕事に就いている方のお話が聞けるのはすごく貴重な経験になると思います。

■ 参加した高校生の感想

- ・裁判員を経験した方の意見を実際に聞くことで、より理解を深められ、貴重な経験になった。
- ・自分が裁判員に選ばれたらどうしようと不安だったが、安心できるような話が聞いて良かった。
- ・実際に自分が選ばれたときにどう動けばよいか参考になった。
- ・経験者の皆さんが「裁判員をやってみて良かった」と話していたので、自分は今まで裁判員になることに否定的だったが、選ばれたらやってみたいと思った。

参加していただいた皆さま、貴重なご意見ありがとうございました。